

# フィトポリアミン

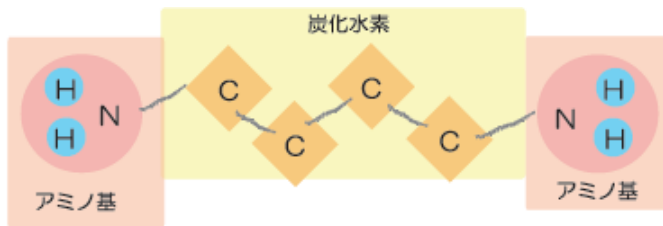
抗糖化の機能を持つポリアミンを含有したコムギ胚芽エキス

**【特長】** 生体内アミンであるポリアミンを含有した植物由来エキス  
UV 照射による活性酸素発生に対し、優れた抗酸化力を発揮  
肌のハリ・弾力低下の原因である糖化反応を抑制

## 【コンセプト】

フィトポリアミンは独自の技術によりポリアミンを高濃度に含んだコムギ胚芽エキスです。

ポリアミンとはアミノ基をもつ直鎖状脂肪族炭化水素であり、動物、微生物に広く偏在する生体内アミンです。



ポリアミンは細胞の増殖や成長に不可欠な成分で、人間の体内にも存在しています。

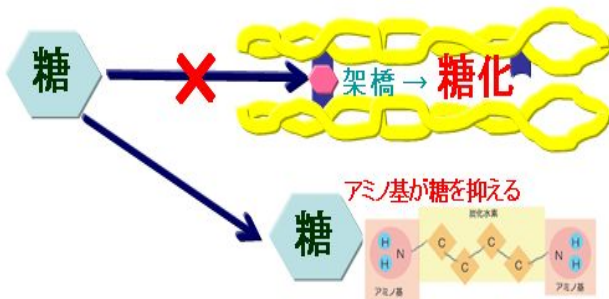
尚、ポリアミンとは、**プロレッシン**、**スペルミジン**、**スペルミン**の総称です。

ヒトの皮膚にも存在し、外部からのダメージから守る働きをしています。

ヒト組織におけるポリアミン含量

組織	ポリアミン含量 (mg/Kg)	
	スペルミジン	スペルミン
皮膚 (表皮)	150	850
皮膚 (真皮)	65	90
脳	140	58
前立腺	48	493
すい臓	165	427
精液		2020

(Arch. Dermatol. Res., 275, 218-221, 1983)  
(Scand. J. Clin. Lab. Invest., 21, 10, 1968)  
(Ann. NY. Acad. Sci., 171, 882-894, 1970)



グルコースのカルボニル基がポリアミンのアミノ基にブロックされるため、  
コラーゲン架橋 (AGEs 産生抑制) が抑制されます。→糖化反応を抑制します。

## 【効能・効果】

### ① 活性酸素に対するポリアミンの効果



ポリアミンには優れた抗酸化作用があります

### ② 老化架橋の原因である糖化反応に対するポリアミンの効果

タンパク質(ラミニン)と糖(グルコース)にポリアミンを加えて 37°C で 21 日間反応させてタンパク質と糖の糖化形成を調べた。

	糖化形成(架橋形成率)
ラミニン	0%
ラミニン+グルコース	100%
ラミニン+ポリアミン(500mM)	0%
ラミニン+グルコース+ポリアミン(5mM)	49.36%
ラミニン+グルコース+ポリアミン(50mM)	13.76%
ラミニン+グルコース+ポリアミン(500mM)	0%

糖化反応にポリアミンを添加することで糖化形成が減少し、ポリアミンがタンパク質と糖の糖化反応を抑制することが確認されています。

## 【商品情報】

商品名:フィットポリアミン

表示名称:コムギ胚芽エキス

医薬部外品表示名称:コムギ胚芽エキス

販売元:株式会社マツモト交商